

1. 越前市等との包括的地域連携協定を締結
2. きてみてフェア2014開催報告
3. 平成26年度地域コア教員・アクティブメンバー一覧

1. 越前市等との包括的地域連携協定を締結

福井大学は、9月1日、福井県越前市、武生商工会議所、越前市商工会との4者による包括的地域連携を締結しました。

福井大学と越前市は、これまで、各種審議会・委員会委員としての参画や各種講座への講師派遣などにより連携を深めてきました。このたび、地域の発展を目的とし、「ひとづくり、ものづくり、まちづくり」の分野において長期的視点に立った相互協力を推進するため、包括的な協定を結びました。

協定書を交わした眞弓学長は「県内唯一の国立大学の使命として、人材育成と科学的価値の創出をしっかりと地域に軸足を置きながら、地域とともに推進していきたい」、奈良越前市長は「子どもの夢を育む教育や、人口減少を見据えたまちづくり等の施策を長期的視点で行うため、福井大学の知識を借りるとともに、重要なパートナーである武生商工会議所・越前市商工会と手を取りながら進めていきたい」、三田村武生商工会議所会頭は「厳しい環境下にある地域の経済を支援していくため、今回の協定締結は大変心強い」、菟輪越前市商工会会長は「本協定の締結を契機に、少しでも多くの中小企業・小規模企業を支援していきたい」と述べました。



協定書に署名する越前市商工会会長、越前市長、眞弓学長、武生商工会議所会頭(左から)

2. きてみてフェア2014開催報告

福井大学は、10月19日に文京キャンパスにおいて「福井大学きてみてフェア2014」を開催しました。

「きてみてフェア」は、教育・研究や学生の自主的な取り組み等に触れる場を地域住民に提供することで、福井大学に対する興味と関心を高めてもらい、地域の活性化に資することを目的に毎年開催しています。今年度は43件の企画が催され、約1,600名の地域住民が参加しました。

作って学ぶコーナー「3色LEDを使った室内インテリアを作ろう」では、参加した小学生や家族連れが、7色に点滅するイルミネーション回路の電子工作を体験しました。また、大学と地域のコラボレーションコーナーでは、教職員・学生の地域貢献活動を紹介するパネル展示や、本学と連携する10自治体が、連携事業の紹介や地域ブランドのPRブースを出展し、フェアを盛り上げました。

参加者からは、「学生が熱心で感心した。これからも研究を続けて福井を活性化してほしい」といった声が寄せられました。

福井大学では、このようなイベントを通じ、大学で行われている教育・研究の成果を身近に体験できる機会を地域に向けて今後も継続的に提供していきます。



サイエンスショーによるふしぎ体験



自治体のゆるキャラを体験する子供